

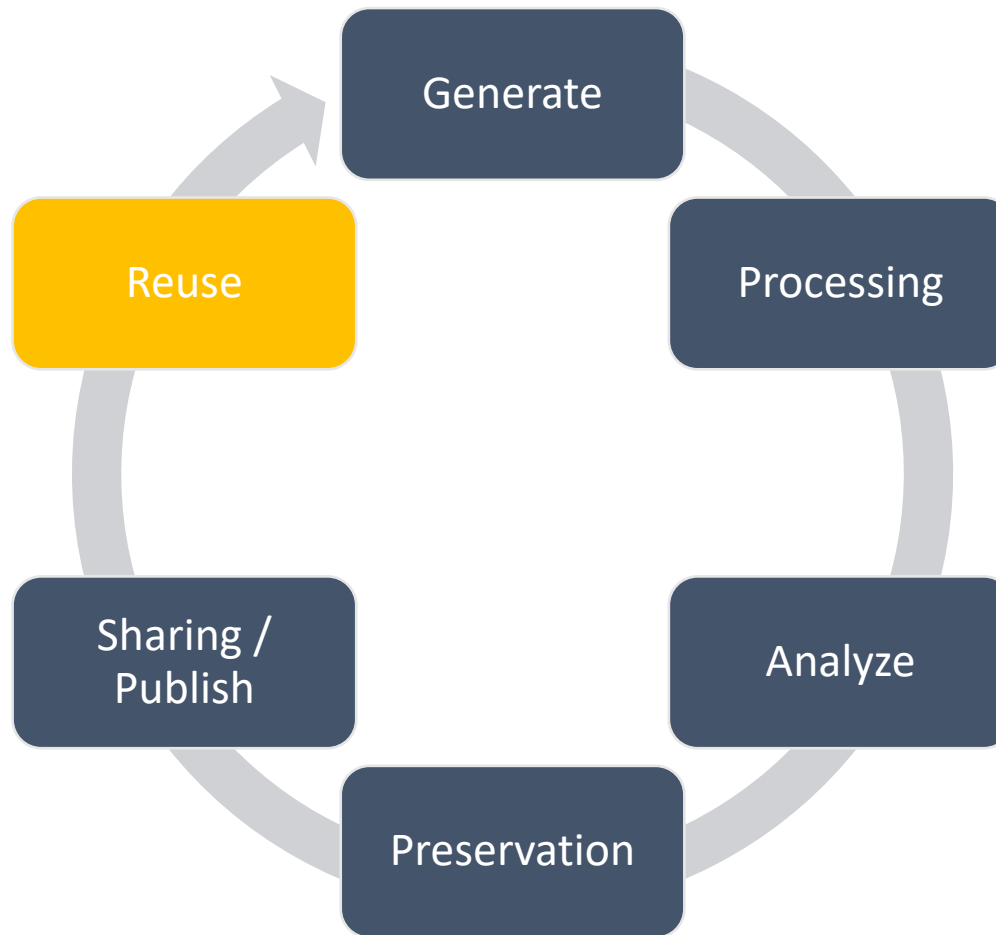
2021年6月18日ジャパン・オープンサイエンス・サミット 2021, セッション E6
CHORUSフォーラム – 研究ワークフローにおけるFAIRデータ
(ファンディングから論文出版まで)

JOSSセッション 「FAIRなデータキュレーションの実践」 の紹介

南山泰之
国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
特任技術専門員 (図書館戦略担当)

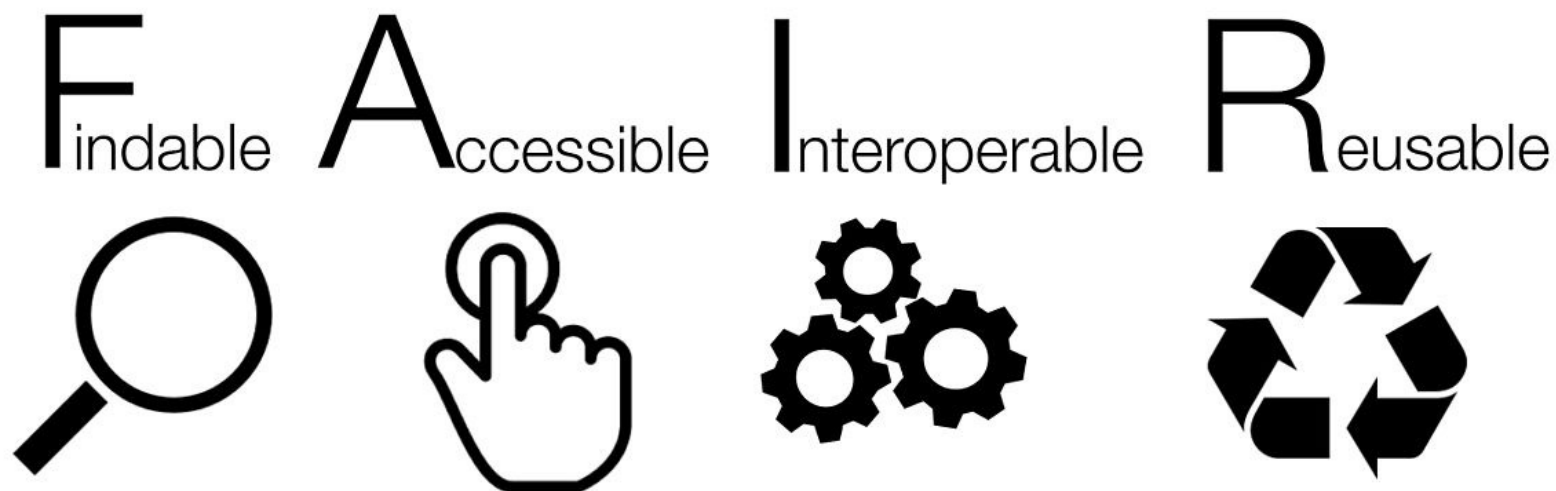
ORCID ID:0000-0002-7280-3342

データキュレーションのライフサイクル



**異なる分野でのデータ共有・公開、再利用
がオープンサイエンス推進の鍵**

FAIR原則

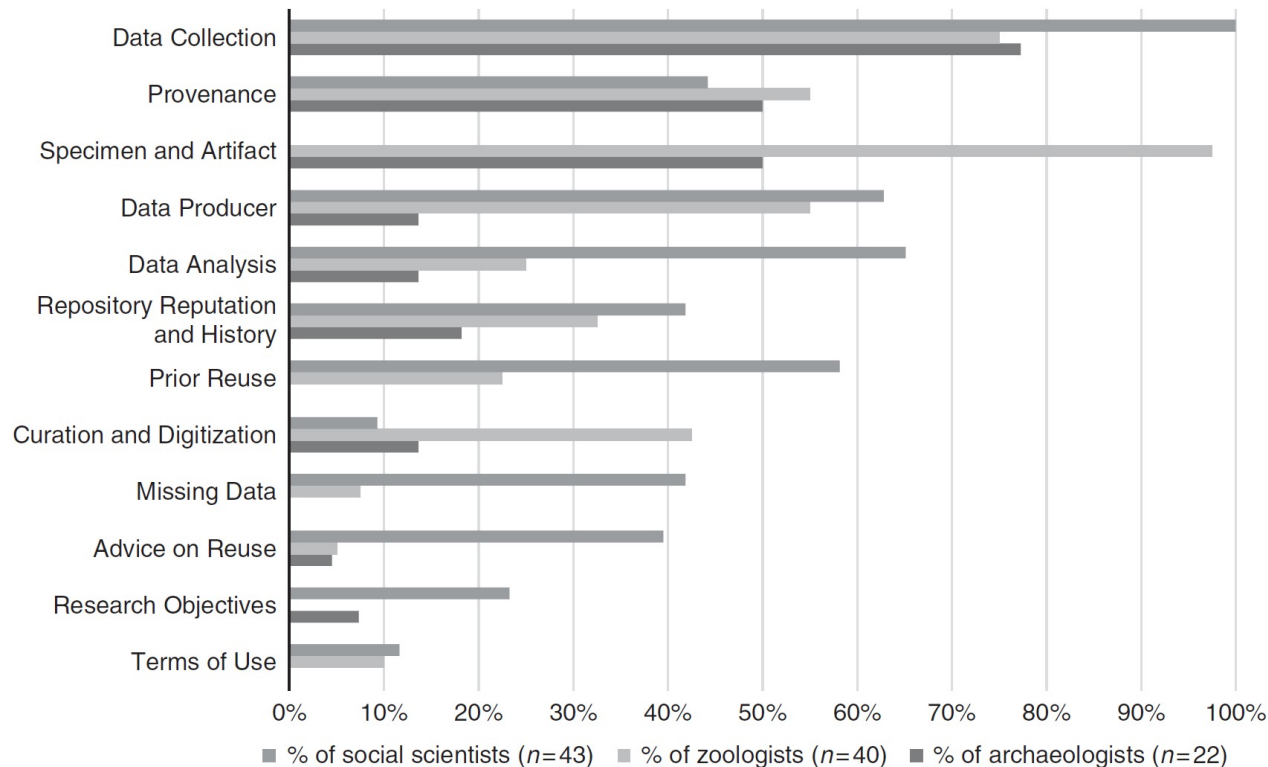


**研究データの共有と公開のための
最も有名なコミュニティ規範；幅広い分野で支持されている**

Source: Wikipedia

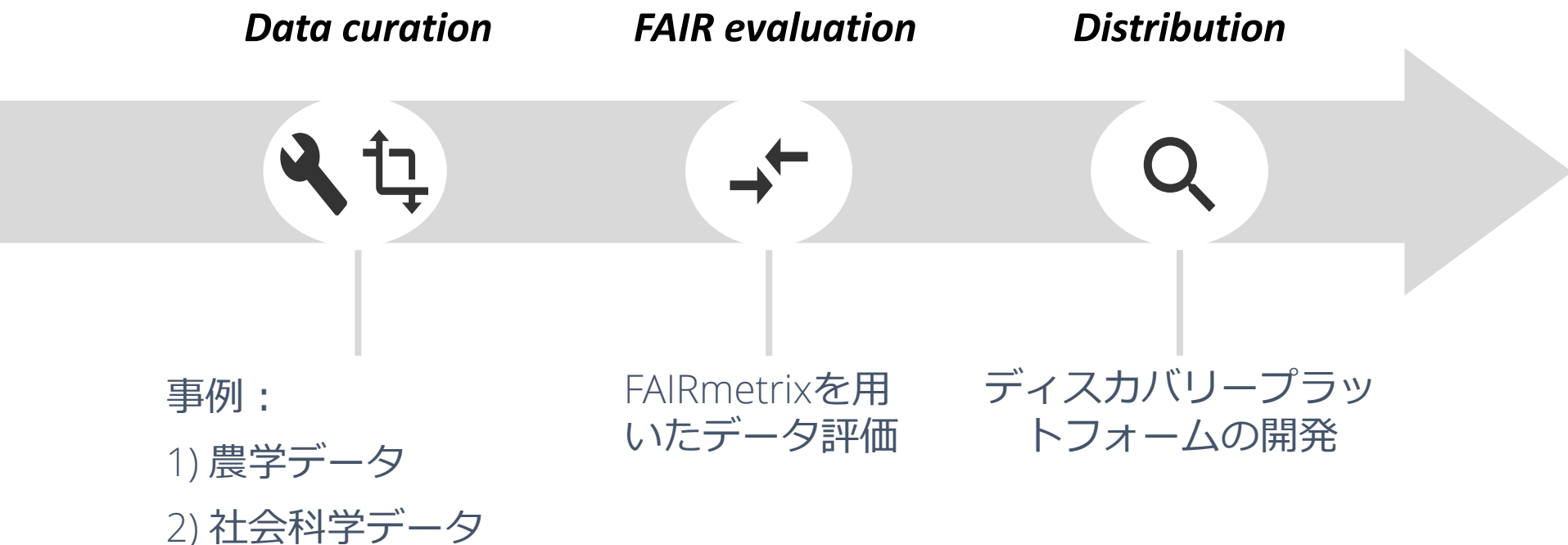
<https://ja.wikipedia.org/wiki/FAIR%E5%8E%9F%E5%89%87>

問題意識



データ再利用に必要な情報の種類は分野によって異なる
→FAIRなデータキュレーションの実践とは？

セッション構成



ディスカッション

- データキュレーション活動の共通点、相違点
- 分野を横断したデータ評価／流通の実現可能な手法
- “FAIRなデータキュレーション”の価値とは？

登壇者

- **川村 隆浩氏**（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）
- **三輪 哲氏**（東京大学社会科学研究所）
- **信定 知江氏**（JST バイオサイエンスデータベースセンター）
- **大波 純一氏**（国立情報学研究所）
- **小賀坂 康志氏**（国立研究開発法人 科学技術振興機構）